

高等学校における道德教育の実際

令和元年10月17日（木）
平成29,30年度「道德教育改善・充実」総合対策指定校
広島県立黒瀬高等学校
教諭 森 真弓

本日の構成

- 1 本校の紹介
- 2 校内の推進体制
- 3 平成29年度と平成30年度の取組
- 4 今年度の取組

1 本校の紹介

普通科 6クラス
福祉科 3クラス

県内唯一の
介護福祉士養成高校



【育てたい生徒像】

社会で必要とされる資質・能力を備え、社会貢献を自己の喜びとする生徒

- ①黒校レンジャー（ボラティア同好会）
地域レンジャー・花レンジャー・美化レンジャー
挨拶レンジャー・旗レンジャー
- ②広島国際大学・東広島市との連携
平成28年3月より福祉の人材育成事業で連携
- ③海外姉妹校交流
スウェーデン王国アルマス高校との交流



2 校内の推進体制

(1) 研究主題

「働くことの意義」を探求し、自らの生き方在り方の自覚を深めるカリキュラムの工夫

～総合的な学習の時間における養訓の取組を中心として～

本校の生徒は・・・

強み→素直な生徒が多い

弱み→自己肯定感が低く自信がない

(2) 推進体制

道徳教育推進委員会（平成29年度より）

管理職・総務主任・学年主任

進路指導主事・進路担当

⇒委員会後

進路指導部を中心にカリキュラム開発

（総合的な学習の時間の計画・立案・実施）

(3) 校内研修

平成30年10月10日

講師：広島大学教育学部 鈴木由美子 教授
広島県教育委員会豊かな心育成課 大橋美代子 先生

題目：「高校における道徳教育のすすめ方」

【高校での道徳教育の可能性】

- ・総合的な学習の時間の活用
- ・教科や特別活動とのゆるやかな連携
- ・小中学校との連携

身に付けたい道徳性 4つの視点

「自己」「他人とのかかわり」

「自然・生命」「集団・社会とのかかわり」



3 平成29年度と平成30年度の取組

(1) 総合的な学習の時間と道徳教育

平成29年度 第3学年のカリキュラムの見直し

平成30年度 第1学年のカリキュラムの見直し



平成30年度道徳教育全体計画

働くことの意義についての探究活動

（総合的な学習の時間を中心として） <別紙資料1>

1 学年 = 今後の学びの目標設定

自分を知る



職業調べ



上級学校調べ



ライフプラン作成



深まった道徳性「自分自身に関すること」

2 学年 = 社会に出て働くことの意義 ライフプランの振り返り



社会の動きを知る
(インターンシップなど)



黒瀬高校討論会

テーマ

「成人になるために必要な条件とは」等

深まった道徳性「人との関わり」



3 学年 = 社会人としての在り方

自分の目標の整理



黒瀬高校小論文コンテスト



後輩への進路ガイダンス



深まった道徳性「集団や社会とのかかわり」
+ 「自然・生命」 よりよく生きる喜び

全学年での取組

講演会の実施

○平成29年5月31日
大阪教育大学名誉教授
藤永芳純先生による講演
演題「よりよく生きる」

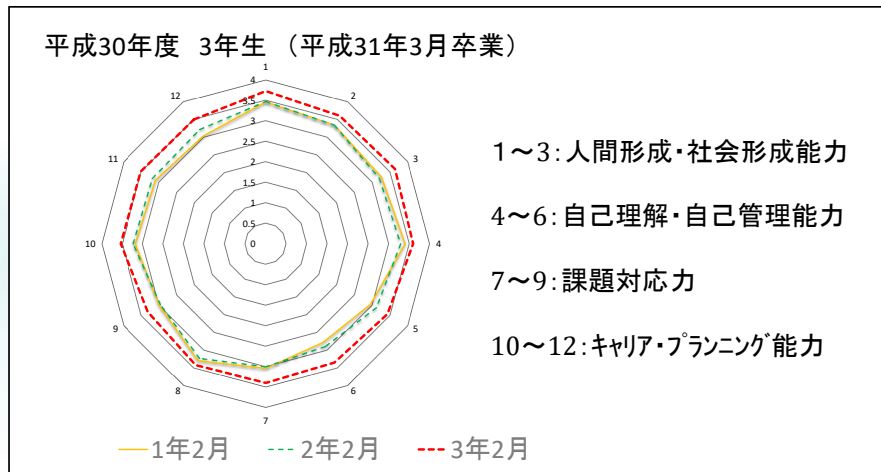
○平成30年8月29日
トリニカレッジ 広島医療福祉専門学校
吉岡俊昭先生による講演
演題「働く喜び」

道徳性4つの視点を
全体的に高める



(4) 生徒の変化

①キャリア教育アンケート結果より



②道徳教育改善・充実総合対策事業にかかわる児童生徒等の意識調査結果より



総合的な学習(探究)の時間の取組を中心とした 様々な教育活動の中で道徳性を身に付ける



4 今年度の取組

平成30年度のカリキュラムの見直し



令和元年度カリキュラムの作成



全教職員で身に付けたい道徳性を意識した
行事等の計画・立案・実施

行事の実施要領へ身に付けたい道徳性を明記





ご清聴ありがとうございました。